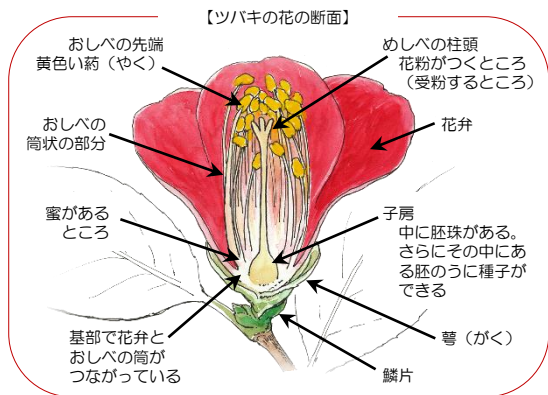




## ツバキの花と生き物たち

### 【花のかたちについて】

ツバキの花が丸ごと落ちるのは広く知られていることですが、それは花弁・おしべがつながっているからです。花弁は筒状のおしべの束と基部で合着してあり、めしべはその筒の中央にあり、根元に蜜があります。



### 【ツバキと鳥】

ツバキは、主に冬から早春にかけて花を咲かせます。受粉し、実をつけて子孫を残さなければなりません。花を行き来して花粉を運んでくれる虫はほとんどいません。そこで活躍するのが、メジロやヒヨドリなどの花の蜜が大好きな鳥たちです。

ツバキの花の花弁は厚みがあり、おしべと繋がっているのが頑丈です。メジロのような小さな鳥はしっかり花弁に足をかけて吸蜜します。

蜜は丈夫な筒状のおしべの奥にあり、正面から顔を突っ込まないと鳥は蜜が吸えません。蜜を吸う鳥の顔に花粉がついて他の花へと運ばれます。鳥と頑丈な形のツバキの花は、お互いなくてはならない関係です。



### 【落花】

花の時期が終わる頃、萼（がく）とめしべを枝に残してほとりと落ちるツバキの花。首が落ちるよう縁起が悪いといわれることがありますが、落花も手に取ってみてください。花弁とおしべがくっついているのでずっしりとした重みがあり、ほとんどの花が上向きに落ちるのがわかります。

夏目漱石の「落ちさまに蛇を伏せたる椿哉（おちさまにあぶをふせたるつばきかな）」という句があります。落花に着目したのでしょうか。花期が終わる頃、ツバキの根元は落ちた花で覆われます。一面に広がる上向きの落花の中、伏せた落花はわずかで目を引きます。さらに、花粉媒介の仕組みとしては鳥とツバキですが、虫とツバキの組み合わせという場面もおもしろく、見てみたくになります。ぜひ、落花にも目を向けてみてください。

### 【その他の生き物とツバキ】

- **チャドクガ**  
ドクガという蛾の仲間で、幼虫がツバキやサザンカの葉にびっしりと並んで葉を食べていることがあります。幼虫の毛には毒があり、皮膚に触れると皮膚炎をおこし、激しいかゆみに襲われます。
- **ツバキキンカクチャワンタケ**  
地上に落ちた椿の花葉に胞子を付着して生長し、翌春発生するキノコです。



チャドクガの幼虫



ツバキキンカクチャワンタケ

## 神奈川県自然環境保全センター ツバキ 観察ガイド



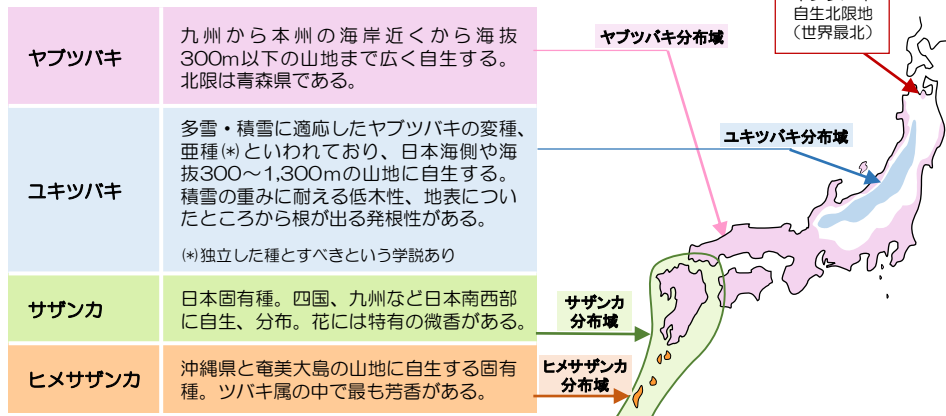
### 自然環境保全センターのツバキについて

自然環境保全センターの樹木観察園にあるツバキ園は、1968年に大磯の研究施設から移植造成されました。現在（2021年）は131種の品種があります。その多くは江戸時代に作出された古典的なツバキで、種類によって開花時期が異なりますが、冬から早春に多彩な花姿や色が観察できます。また、谷戸を中心とする自然観察園には、この地域に自生するヤブツバキも多く生育しています。



### 日本に自生しているツバキ

日本には、ヤブツバキ・ユキツバキ・サザンカ・ヒメサザンカの4種類が自生しています。神奈川県内で自生しているのはヤブツバキで、主に海拔800m以下に生育する照葉樹シイ・カンシンの構成種です。



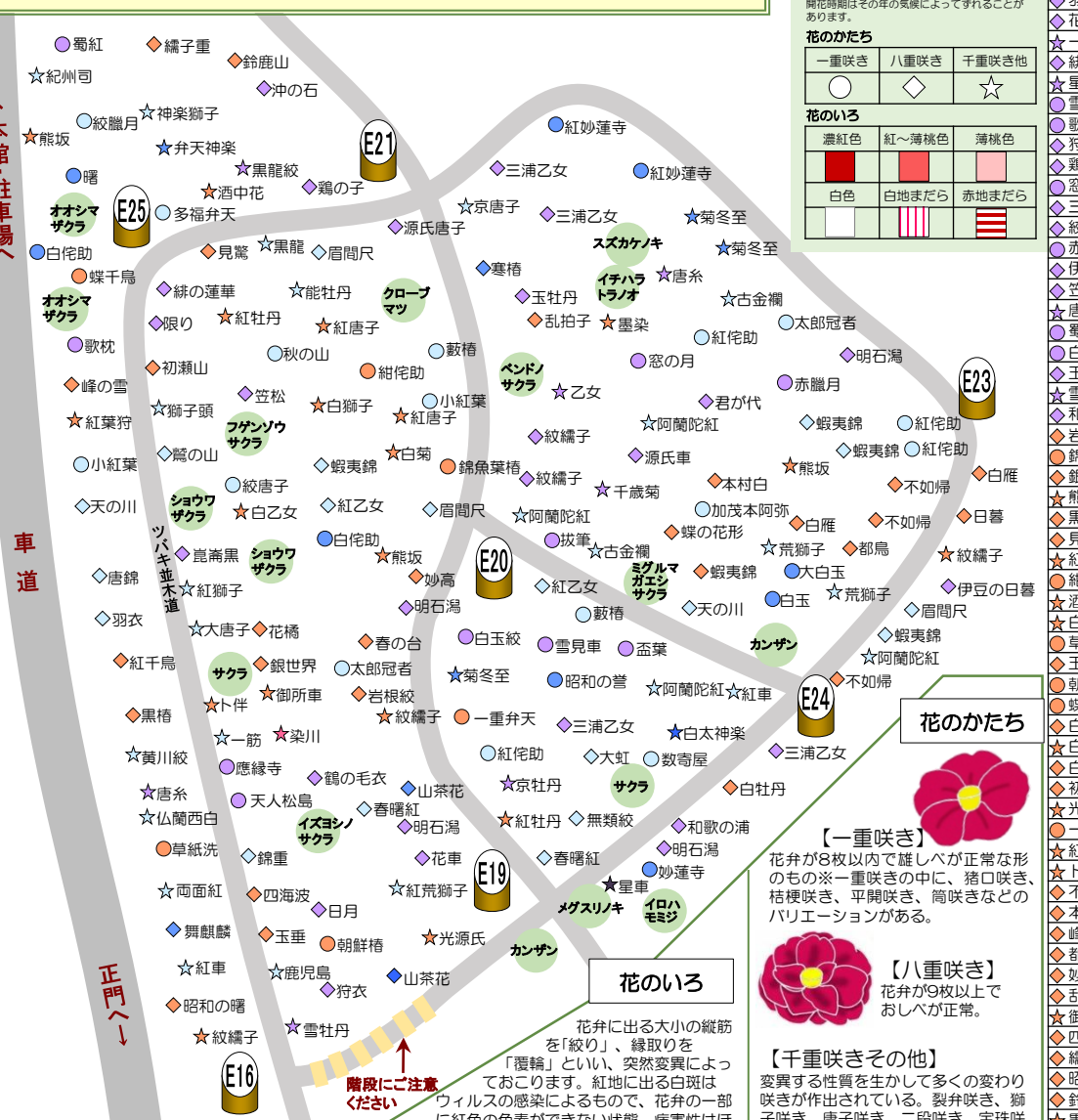
### ツバキと人との関わり

身近な存在であるツバキは、古くからなくてはならない生活物資です。

- 【花】花の少ない時期に咲く花として親しまれ、作庭、華道、茶道の発達の中で珍重され、江戸時代には多くの栽培品種が作られました。さらに西洋に渡り、育種されています。
- 【種】種子に大量の油を含んでおり、灯明・薬・化粧・食用油などに利用されています。
- 【木材】材質が強く、生活用品に加工され、良質の炭にもなります。灰は染め物の媒染剤として使われ、さらに日本酒を造るときにも役に立つそうです。
- 【茶葉】東アジアから東南アジア・ヒマラヤにかけて分布しているツバキの仲間は、およそ250種とも言われ、その中に生活になじみの深いチャノキ（チャ）があります。チャノキの葉は茶葉として、ツバキの仲間の中では最も古くから栽培利用され、世界中でお茶として飲まれています。

花の名称	色	12月	1月	2月	3月	4月
◆寒椿	かんつばき					
◆山茶花	さざんか					
◆昭和の曙	しょうわのぼほれ					
★白太神楽	はくたいかぐら					
◆紅妙蓮寺*	へにみょうれんじ					
◆曙	あけぼの					
◆白侘助	しろわびすけ					
◆妙蓮寺*	みょうれんじ					
◆大白玉	おおしろたま					
★菊冬至	きくとうじ					
◆京唐子	きょうからこ					
◆白玉	しらたま					
★弁天神楽	へんてんかぐら					
◆舞麒麟	まいきりん					
◆荒獅子	あらしし					
◆蝦夷錦	えぞにしき					
★紀州司	きしゅうつかさ					
◆太郎冠者	だろろうがじゃ					
◆唐錦	とうにしき					
◆秋の山	あきのやま					
★大唐子	おおからこ					
◆大虹	おおにし					
◆加茂本阿弥	かものほんあみ					
★紅獅子	こうしし					
◆小紅葉	こもみじ					
◆絞唐子	しぼりからこ					
◆春曙紅	しゅんしゅくこう					
◆数寄屋	すきや					
◆錦重	にしきがさね					
★紅荒獅子	へにあらしし					
★紅車	べにぐるま					
◆紅侘助	へにわびすけ					
◆無類紋	むるいしぼり					
★両面紅	りょうめんこう					
◆麓の山	ふしのやま					
◆天の川	あまのがわ					
★阿蘭陀紅	あらんたこう					
★神楽獅子	かぐらしし					
★鹿兒島	かごしま					
◆紅乙女	こうおとめ					
★古金襴	こきんらん					
★黒龍	こくりゅう					
★獅子頭	ししがしら					
◆絞臘月	しぼりろうげつ					
◆多福弁天	たふくべんてん					
★能牡丹	のうぼたん					
★仏蘭西白	ぶらんせいしろ					
◆眉間尺	まゆまじやく					
◆敷椿	ふきつばき					
★横川紋	よこかわしぼり					
◆明石湯	あかしがた					
◆応縁寺	おうえんじ					
◆沖の石	おきのいし					
★乙女	おとめ					
◆限り	かぎり					
◆君が代	きみがよ					
★京牡丹	きょうぼたん					
◆源氏唐子	げんじからこ					
◆源氏車	げんじぐるま					
★黒龍紋	こくりゅうしぼり					
◆喜滿黒	こんまんこく					
◆盃葉	さかすきは					
◆日月	しづつく					
★千手菊	ちとせぎく					
◆鶴の毛衣	つるのけこち					

# ツバキ園 開花時期表と位置図 (2020.12)



### 開花し始める月の色分け

12月	1月	2月	3月	4月
濃紅色	紅~薄桃色	薄桃色		
白色	白地まだら	赤地まだら		

開花時期はその年の気候によってずれることがあります。

### 花のかたち

一重咲き	八重咲き	千重咲き他
○	◇	☆

### 花のいろ

濃紅色	紅~薄桃色	薄桃色
■	■	■
□	□	□

花の名称	色	12月	1月	2月	3月	4月
○ 天人松島	てんにんまつしま					
○ ぬきふで	ぬきふで					
○ 羽衣	はごろも					
○ 花車	はなぐるま					
☆ 一筋	ひとすじ					
○ 緋の蓮華	ひのれんげ					
☆ 星車	ほしぐるま					
○ 雪見車	ゆきみぐるま					
○ 歌枕	うたまくら					
◆ 狩牙	かりがね					
◆ 鶏の子	とりの子					
◆ 窓の月	まどづき					
◆ 三浦乙女	みうらおとめ					
◆ 絞獅子	しぼりしし					
◆ 赤臘月	あかろうげつ					
◆ 伊豆の日暮	いずのひぐらし					
◆ 笠松	かさまつ					
★ 唐糸	からいと					
○ 蜀紅	しよくべに					
○ 白玉紋	しらたましぼり					
◆ 玉牡丹	たまぼたん					
★ 雪牡丹	ゆきぼたん					
◆ 和歌の浦	わかのうら					
◆ 岩根紋	いわねしぼり					
○ 錦葉葉	きんぎょはな					
○ 銀世界	ぎんせかい					
★ 熊坂	くまざか					
◆ 黒椿	くろつばき					
◆ 見鷲	けんじょう					
★ 紅牡丹	こうぼたん					
○ 紺侘助	こんわびすけ					
★ 酒中花	しゅちゅうか					
★ 白菊	しろぎく					
○ 草紙洗	そうしあらい					
○ 玉垂	たまだれ					
○ 朝鮮椿	ちょうせんつばき					
○ 蝶千鳥	ちょうちどり					
○ 白雁	はくがん					
★ 白獅子	はくしし					
○ 白牡丹	はくぼたん					
○ 初瀬山	はつせやま					
★ 光源氏	ひかるげんじ					
○ 一重弁天	ひとえべんてん					
★ 紅唐子	べにからこ					
★ 卜伴	はくはん					
○ 不如帰	ほととぎす					
○ 本村白	ほんむらしろ					
○ 峰の雪	みねのゆき					
○ 都鳥	みやどり					
○ 妙鳥	みょうこう					
○ 乱拍子	らんぱうし					
★ 御所車	ごしょぐるま					
○ 四海波	しかいなみ					
○ 獅子重	ししづがね					
○ 昭和の曙	しょうわのあけぼの					
◆ 鈴鹿山	すずかやま					
★ 墨染	すみぞめ					
○ 蝶の花形	ちょうのはながた					
★ 白乙女	はくおとめ					
○ 花橋	はなはし					
○ 春の台	はるのうたな					
◆ 日暮	ひぐらし					
○ 紅千鳥	べにちどり					
★ 紅葉狩	もみじがり					
★ 絞獅子	もんじし					
★ 染川	そめがわ					

### 花のいろ

花弁に出る大小の縦筋を「絞り」、縁取りを「覆輪」とい、突然変異によっておこります。紅地に出る白斑はウィルスの感染によるもので、花弁の一部に紅色の色素がてきない状態。病害性はほとんどない。

### 花のかたち

【一重咲き】花弁が8枚以内で謹しべが正常な形のもの※一重咲きの中に、猪口咲き、桔梗咲き、平開咲き、筒咲きなどのバリエーションがある。

【八重咲き】花弁が9枚以上でおしべが正常。

【千重咲きその他】変異する性質を生かして多くの変わり咲きが作出されている。裂弁咲き、獅子咲き、唐子咲き、二段咲き、宝珠咲き、など多くの咲き様がある。

\*「妙蓮寺」は「紅妙蓮寺」と同種とする考えもある。